

## 新たな体制の確立

～管理部門の警察官を削減し、現場活動に振り向きました～

	徳島板野署	徳島名西署
管理部門（課長以上）	15人（-1人）	11人（-2人）
係長以下	169人（+20人）	130人（+7人）
合計	184人（+19人）	141人（+5人）
本部執行隊	四国管区機動隊35人 機動捜査隊6人	広域自動車警ら隊13人 鉄道警察隊2人

## 統合のIMAGE



## 増員効果による組織運営

## 夜間・休日の体制強化

- 各種事案への早期現場臨場
- 捜査員の集中運用による早期解決
- 緊急呼出し等の縮減

## 機動力の確保

- 警ら用パトカーの複数運用
- 「管区機動隊」「機動捜査隊」  
「広域自動車警ら隊」を配備 →機動力を大幅に増強

## 警察機能の分散化

- 板野庁舎  
四国管区機動隊を配置  
～「広域防災センター」の機能～
- 石井庁舎  
「広域自動車警ら隊」と「鉄道警察隊」を配置  
～「パトロール活動の拠点」の機能～

## 警察力の強化と治安の向上

## 刑法犯認知件数

徳島板野署 - 23.6%  
徳島名西署 - 24.0%

## 交通事故発生件数

徳島板野署 - 0.5%  
徳島名西署 - 11.1%

## 不審者情報件数

徳島板野署 - 7.9%  
徳島名西署 - 41.1%

## ～捜査力の強化～

県警察の評価  
統合による効果大

## ～迅速・的確な対応～

## ～街頭活動の強化～

捜査力の強化による  
早期事件検挙

## 【徳島板野署】

- 藍住町におけるコンビニ強盗未遂事件
- 松茂町における現住建造物等放火事件 等

## 【徳島名西署】

- 石井町における飲酒死亡ひき逃げ事件
- 首都圏を舞台とした広域特殊詐欺事件 等

地域警察官による  
街頭活動の強化

## 警ら時間（1人当たり）

徳島板野署 + 2.2%  
徳島名西署 + 18.8%

地域警察活動以外への  
転用勤務時間（1人当たり）

徳島板野署 - 83.0%  
徳島名西署 - 78.6%